

構造なんかに興味ない!!

そんなことを言っていると家づくりで後悔しますよ。
なぜって、建ててしまってからでは手遅れだからです。

栃木の家づくり
推進委員長／横田

その家づくり、ちよつとまった!!



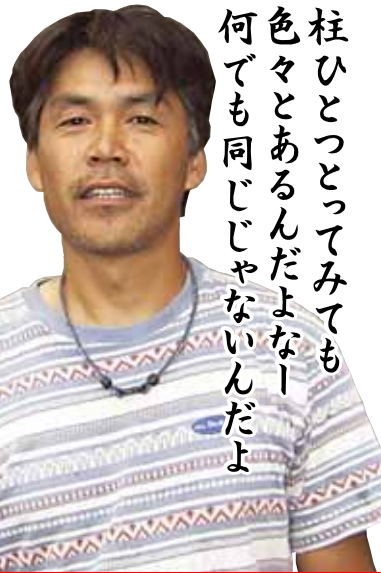
後悔先に立たず
リフォームのきかない構造だから
しっかりその目で確かめてください

現場管理担当／木村



家づくりの基本は
なんといっても構造です
必ず構造現場を見てください

木工事担当／杉江棟梁



柱ひとつとってみても
色々あるんだよねー
何でも同じじゃないんだよ

営業担当／山崎

家づくりのことが
分かってくれればくるほど
構造の大切さを実感します



違いがハッキリわかる構造見学会

1月23日(土)・24日(日)／午前9時30分～午後4時30分

完成してからでは決して見る事の出来ない柱などの構造材、断熱材や断熱方法。
しかしそれは、家づくりにとって最も重要な要素だと思いませんか？
ぜひこの機会にしっかりと見て、確かめて、後悔しない家づくりの参考にしてください。

選んだ樹種で住宅の寿命が変わる!!

土台や柱に使用する木の種類(樹種)によって耐久性が異なるって、ご存知ですか。
土台や柱は交換できません。交換するということは建て替えるということです。交換できない部分こそ、耐久性を重視すべきではないでしょうか。
長期の住宅ローンを組んで、返済が終わらないうちに建物の寿命が来てしまったら、大変なことになってしまいますよ。

断熱材にも経年劣化が起こる!!

断熱材も時を経るにつれて劣化(経年劣化/経時劣化)します。そして、劣化率の大きいものは新築時に比べて将来の断熱性能の低下も大きいということです。
断熱材も基本的には交換できないものと考えべきでしょう。だからこそ、劣化率の少ない断熱材を選びたいものです。

気密断熱を高めただけでは夏涼しくならない!!

高气密高断熱の家は、よく魔法瓶に例えられます。魔法瓶は中の熱を保持しやすいからです。つまり、家の中の熱が逃げにくいということです。これは冬の暖房熱、夏の冷房熱を逃がしにくいという点では良いことです。
しかし、なるべく冷房を使わない夏の過ごし方を望む方々に取りましては、ちょっと考え物です。
冷房を使わない夏の過ごし方を前提とするのであれば「熱の侵入をいかに防ぐか」ということに加えて「侵入した熱をいかに逃がすか」という2つの視点が必要です。

木材の調湿機能を生かしているのか!!

構造体に大量の木材を使用する木造住宅。そして、そこには大量の調湿機能があります。せっかく木造で家づくりをするなら、木材の最大の良さである調湿機能を生かす家づくりをしたいものですね。
しかし内壁で防湿をしてしまえば、構造材に屋内の湿気調整を一切させないということになってしまいます。これでは何のために木造を選択するのでしょうか。

シックハウス対策を換気だけに頼るのか!!

住宅建材に関しては、かなり規制が進んでいます。しかし、家具、電化製品、化粧品、防虫剤、芳香剤消臭剤などなど、まだまだ規制が進まず、有害な化学物質を発生させるものは山ほどあります。
そして、それを家の中に持ち込むこととなります。いえ、持ち込まざるを得ないのが現代生活です。さらに、それらは部屋の隅や収納内など、換気がしにくい場所に置かれるものです。
だからこそ、換気システムだけに頼るのではないシックハウス対策を施したいものですね。